

1 目的

県では、県内のNPO活動を促進するため、平成13年4月に「みやぎNPO情報ネット」を開設し、NPO関連情報の発信を行ってきたが、機能や利便性等の面で課題が見られるようになってきていることから、NPOや県民等にとって更に利用しやすいシステムの構築（再開発）を行う。再開発の内容を検討するにあたっては、NPO関係者等から意見や助言等を聴取する。

2 みやぎNPO情報ネット検討会

(1) 構成員

(敬称略)

区分	氏名	所属団体・役職
学識経験者 企業関係者	五十嵐 絵美	NECソリューションイノベータ株式会社東北支社 第二グループ 第二地域ソリューショングループ 主任
NPO関係者	渡邊 桂子	特定非営利活動法人フレーム・ラボ 代表理事 【仙台市】
	中川 政治	公益社団法人3.11みらいサポート 専務理事 【石巻市】
	布田 剛	特定非営利活動法人地星社 代表理事 【名取市】
	阿部 楓	大崎市市民活動サポートセンター スタッフ
市町村	瀧田 謙一郎	富谷市総務部市民協働課 課長補佐

オブザーバー

(敬称略)

区分	氏名	所属団体・役職
みやぎNPO 情報ネット管理者	堀川 晴代	宮城県民間非営利活動プラザ 館長
みやぎNPO 情報ネット(現行) 構築・保守業者	石澤 圭太	株式会社サルブランコ 代表取締役

(2) 検討会の開催状況

- ①令和4年6月20日 現システムについて、検討会の進め方について
- ②令和4年7月1日 みやぎNPO情報ネットの再開発の方向性について
- ③令和4年7月12日 みやぎNPO情報ネットの再開発に向けた意見等の整理について

(3) 検討会における意見の概要

別添資料のとおり

3 今後のスケジュール(予定)

- 令和4年9月 再開発(原案)の作成
- 令和4年11月 令和5年度予算要求
- 令和5年5月 再開発案の作成
- 令和5年6月 開発事業者の選考, 契約
- 令和6年2月 新システム公開・運用開始

「みやぎNPO情報ネット」再開発の方向性

みやぎNPO情報ネットは、みやぎNPOプラザにおける「高度・専門サービス機能」の一つとして、NPO活動に資する各種情報の発信媒体として活用されており、利用者ニーズにあった再開発を行い、NPO活動の更なる促進を図るとともに、県民や企業等のNPO活動に対する興味・関心の喚起及び利用者の利便性向上を推進する。

＜再開発の方向性＞

1 パートナーシップの推進

- (1) NPO同士や、NPOと県民、NPOと企業等の協働を進めるためのコンテンツの充実を図る。
- (2) 一般県民や企業等のNPO活動に対する興味・関心を高めるためのコンテンツの充実を図る。

2 ユーザビリティの向上

- (1) 利用者の視点に立ち、情報を整理するとともに分かり易く使いやすいサイト構成とする。
- (2) スマートフォンやタブレット端末等の様々なデバイスで情報をスムーズに取得できる仕組みを取り入れる。
- (3) 様々な利用者を想定し、最適なウェブアクセシビリティを確保する。

3 業務効率化

- (1) NPO等が直接データ入力等を行える仕組みを取り入れる。
- (2) 簡単な操作で最適なコンテンツの作成、更新等の管理ができ、管理者の業務負担を軽減する。

「みやぎNPO情報ネット」の再開発の方向性

< I 機能性 >

No.	項目	現状・課題	再開発の方向性	具体的な機能・コンテンツ等	期待される効果
1	ネットワーク機能	<p>1 NPOプラザ（県）が情報を「発信するもの」、NPOが「受け取るもの」という「一方通行」となっている。</p> <p>2 NPOに向けての発信になっている。</p> <p>3 NPOや、そこに関連する方々、今後連携していきたい方などの情報をそれぞれに掲載してはどうか。 例) SDGs 視点のNPOと仕事したい。子ども達の遊び場としての提供。</p> <p>4 現状のサイトでは、サイト側と受け手の双方の連携が出来ていない。Zoomなどを使用した双方向のやりとりにも対応できないか。</p>	<p>NPOどうしや、NPOと企業、行政、大学等の多様な主体とのパートナーシップを促進する機能やコンテンツを強化する。</p> <p>① NPO間、NPOと民間企業などの協働を促せるマッチングを支援する機能やコンテンツ</p> <p>② 企業、大学、市町村等の様々な主体によるNPOとの協働事例や関連情報を発信するコンテンツ</p> <p>③ 専門的な技術・技能を持つボランティア（プロボノ）とNPO等のマッチングを支援する機能</p> <p>④ 企業等の遊休物品の提供など、NPOに対する支援情報の発信や、そのマッチングを支援する機能</p> <p>⑤ 地域課題の解決に向けて、NPOや企業、行政、大学等の様々な主体が情報交換や交流が出来るようなオンラインサロン機能</p> <p><配慮すべき事項></p> <p>① 多様な主体に向けた情報発信とする。</p> <p>② 「協働」や「パートナーシップ」のイメージが伝わる工夫が必要。</p> <p>③ マッチング支援のサイト管理者の関与は最小限とする。</p> <p>④ 外部サービスの活用も検討する。</p>	<p>① NPOと様々な主体の協働事例の紹介</p> <p>② プロボノ掲示板（NPO側だけでなく、支援したい側の情報掲載等）</p> <p>③ 欲しいものいらないもの掲示板</p> <p>④ オンラインサロン（電子会議室、チャット相談室、等）</p> <p>⑤ 自治体のNPOとの協働事業の紹介</p>	<p>◇ 多様な主体に向けた情報発信により、NPO活動に対する社会の関心が高まり、理解と参加が促される。</p> <p>◇ ヒト・カネ・モノ等の課題を抱えるNPOの基盤強化が図られる。</p> <p>◇ 多様な主体とのパートナーシップの確立が促進される。</p>
2	情報検索	<p>1 各情報の検索機能が不足しているため、求めている情報にたどり着くのが難しい。</p> <p>2 階層が深い情報ほど探すのが難しい。 トップページにキーワード検索バーがないため、必要な情報にたどり着くのが難しい。</p> <p>3 検索キーワードにより、直接情報ページに入ることが多いので、検索のサポート機能を充実させてほしい。</p> <p>4 内部リンクはタブ内遷移、外部リンクは新規タブ等、リンクの遷移先を工夫してはどうか。</p> <p>5 各情報ページから前のページに戻れないため、ホームページからの離脱率が高くなる。</p>	<p>利用者が必要な情報に容易にたどり着けるように、検索機能を充実させるとともに、階層を極力少なくする。</p> <p>また、トップページはカテゴリーごとのアイコンと検索バー等によるシンプルな表示とし、階層を下げていくにつれて情報量を増やしていく構成とする。</p> <p>① 求めている情報へ迷わずに、少ないクリックでたどりつけるようなページ構成や階層</p> <p>② グローバルナビゲーション設置</p> <p>③ 情報ページ（コンテンツ）内の検索機能の強化</p> <p>④ 団体検索のキーワードの見直し</p> <p><配慮すべき事項></p> <p>① ページからの離脱を少なくするための検索機能の精度を高める工夫が必要。</p> <p>② 利用者にストレスを与えないようリンクの遷移先の工夫が必要。</p>	<p>① グローバルナビゲーション</p> <p>② ページ内検索</p> <p>③ サジェスト機能</p>	<p>◇ 利用者が情報ネット内の情報をスムーズに引き出せるようになる。</p>

「みやぎNPO情報ネット」の再開発の方向性

< I 機能性 >

No.	項目	現状・課題	再開発の方向性	具体的な機能・コンテンツ等	期待される効果
3	業務フローの効率化	<p>1 NPOからの情報発信は、掲載依頼を受けたNPOプラザ担当者がデータ入力している。</p> <p>2 現在5人で運用。情報を集め、誤った情報を掲載しないよう、掲載までに日数・人手を要している。</p>	<p>ホームページの更新作業を省力化して、業務の軽減・効率化を図る。</p> <p>① 情報掲載を希望するNPO等が直接データ入力できるような機能（ID・PWの付与等）</p> <p>② 団体等が直接入力する情報内容を公開前にチェックする機能</p> <p><配慮すべき事項></p> <p>❶ NPO等自身による情報入力は更新作業の省力化や情報の最新性等の利点がある一方で、情報の信頼性のチェック機能が必要。</p> <p>❷ NPO等にID・PWを付与する際の運用方法や利用方法等の規定を整備する必要がある。</p> <p>❸ NPO自身で入力するのはハードルが高い。更新頻度が落ち、活用されないサイトになってしまう可能性がある。NPOに更新メリットを感じてもらう仕掛けが必要である。</p> <p>❹ 利用者にとって掲載する団体等の信頼性の確保が重要であるが、その発信方法については慎重な検討が必要。 (明示等の基準や方法、表現、チェック方法、等)</p> <p>❺ NPO等に対して、情報の更新の働きかけとともに、情報公開・発信の重要性やメリット等について示すことが必要。</p> <p>❻ 現在行われているNPOの情報掲載の方法への配慮も必要である。</p>	<p>❶ NPO等団体の登録</p> <p>❷ ID・PW方式 (登録団体による情報入力等)</p> <p>❸ 情報公開前のチェック機能</p> <p>❹ 情報の信頼性を高める仕組み (団体の活動状況や情報公開度等の明示等)</p>	<p>◇ 更新作業の省力化が図られる。</p> <p>◇ 情報発信に積極的なNPO等の活動を後押しすることができる。</p>
4	スマートフォン対応	<p>1 一部スマホ対応がされていないページがある。</p>	<p>スマートフォンでも見れるようにする。</p> <p><配慮すべき事項></p> <p>❶ スマホ対応を想定したページ構成や情報の内容・量。</p>	<p>❶ スマホ自動変換機能</p>	<p>◇ 幅広い層への情報発信が可能となる。</p> <p>◇ 若年層への拡がり期待される。</p>

「みやぎNPO情報ネット」の再開発の方向性

<II コンテンツ>

No.	項目	現状・課題	再開発の方向性	具体的な機能・コンテンツ等	期待される効果
1	ターゲット	1 NPOに対する情報提供（制度の変更、助成金情報、イベント情報等）や、NPOの情報発信のサポート（イベント告知、スタッフ・ボランティア募集等）など、NPOを対象とした情報サイトという位置づけとなっている。	NPOを主としつつ、多様な主体（行政・企業・大学・地縁組織・各種団体等）による協働の地域づくりを促進するような機能やコンテンツの充実を図る。 <配慮すべき事項> ① NPOプラザ機能（サービス内容等）との調整 ② 既存のNPO活動を促進させるための各情報についてもニーズ等に合わせた検討が必要。 ③ 広義のNPO（一社など）の活動に資する情報・支援機能等について検討が必要。	① 多様な主体に向けた情報発信（対象毎のタブ、条件検索等） ② 多様な主体による情報発信（対象毎の情報ページ等） ③ NPOと様々な主体の協働事例の紹介	◇ 多様な主体に向けた情報発信により、NPO活動に対する社会の関心が高まり、理解と参加が促される。 ◇ 多様な主体とのパートナーシップの確立が促進される。
2	NPOの団体情報	1 情報が更新されず古い情報が掲載されたままになっており、更新の動機づけが必要である。 2 存在が確認できない団体や、掲載されていないNPOもある。 3 文字情報のため、利用者にとってNPOの活動内容や活動状況が分かりにくい。 4 NPO情報ネットの情報データベース自体が多くの人にあまり知られていない。	写真やイラスト、SDGs目標等を用いて、誰にとっても分かりやすい団体紹介ページにする。また、更新日等を表記する。 ① 写真等を用いた団体紹介ページ ② 団体情報を登録している団体の活動状況や協働実績、情報の更新頻度などが見る側に伝わるような機能 ③ 検索条件の見直しや、登録情報のフォーマットに必須項目や検索に必要なキーワードを設ける ④ 団体情報がアップされるとトップページに掲載される設定 ⑤ 最終更新日や更新頻度等の表示機能 ⑥ イベント告知など、一定期間経過後の情報が自動で消去する機能 <配慮すべき事項> ① 情報の信頼性の確保には定期的なチェックが必要。 ② NPOに対してメリットを示して更新を促す必要がある。（登録メリット例） ・更新情報のメール配信が受けられる ・自治体等への提出書類として代用できる ③ NPOと制度が違う一社等の掲載については、利用者の信頼性確保のため、条件等の整理が必要。 ④ 類似サイトとの棲み分けや連携等の検討が必要。	① NPOの団体紹介ページ（文字+写真等、活動内容、更新情報、等） ② NPO検索機能（地域、活動分野、エリア、…等） ③ NPO等の登録（登録フォーマット） ④ ID・PW方式	◇ 多様な主体に向けた情報発信により、NPO活動に対する社会の関心が高まり、理解と参加が促される。 ◇ 多様な主体とのパートナーシップの確立が促進される。 ◇ 情報発信に積極的なNPO等の活動を後押しすることができる。 ◇ 更新作業の省力化が図られる。
3	NPO活動への支援	1 NPOの設立についての情報はあがるが、活動に役立つ情報は他ページへのリンク集になっている。 2 人口減少の今、10人の同志を集めることからなかなか難しい。NPO法人以外の設立支援も必要である。 3 一般法人の活動促進に関する情報が不足している。一般法人も含めたNPO全体の底上げにつながる取組が必要である。 4 助成金情報の詳細は、リンク先の助成元サイトに行かないとわからない状態になっている。	NPO法人向けを主としつつ、県内NPO全体の活動促進を図るという視点で、独自の支援コンテンツの充実を図る。 ① NPOの運営や活動のために必要な助成金情報等のコンテンツ（情報ページ）の充実 ② NPOプラザが実施する講演会やセミナー等のアーカイブ動画配信等による情報発信 ③ NPOプラザから遠方のNPOを支援するコンテンツ（情報ページ）の充実（オンライン相談室やその予約申込み機能の充実、等）	① 助成金情報（募集情報、活用術、等） ② セミナー等のアーカイブ配信 ③ 会議室予約システム ④ オンラインサロン（電子会議室、チャット相談室、等） ⑤ イベント情報・各種募集情報（地域ごと、絞り込み検索機能、等）	◇ 多様な主体によるNPO活動の促進が図られる。 ◇ NPOプラザから遠方のNPOに対する支援を補完することができる。 ◇ 寄附促進の仕組みづくりが図られる。

「みやぎNPO情報ネット」の再開発の方向性

<II コンテンツ>

No.	項目	現状・課題	再開発の方向性	具体的な機能・コンテンツ等	期待される効果
		<p>5 小規模なNPOにとっては、助成金の申請書の書き方等の手続方法や、活用事例の紹介、対象経費や事前着手等の助成金活用のノウハウや注意点等の情報が必要である。</p> <p>6 寄附に関する情報掲載がない</p> <p>7 仙台以外の県内NPOの登録情報が少ない</p> <p>8 仙台市中心部のNPOに向けたHPの構成となっている。仙台市以外のNPOは欲しい情報が違う。県全体を考えた情報発信が必要である。</p> <p>9 掲載情報（イベント情報、助成金情報、スタッフ・ボランティア募集等）は、ある程度時間が経つと消去されている。</p> <p>10 NPOプラザで実施した講座や専門相談等の情報（ノウハウや知識等に関する情報）はウェブには残らない。</p> <p>11 コロナで満足な活動が出来なかったNPOへのサポートを充実して欲しい。</p>	<p>④ イベント、募集情報を地域ごとに表示する機能</p> <p>⑤ 過去のイベント情報や助成金等の情報を残せる機能</p> <p>⑥ よくある相談をQ&Aのような形で情報を残していき、知識・情報・ノウハウ等をアーカイブとして残すコンテンツ</p> <p>⑦ 寄附に関するコンテンツ（情報ページ）</p> <p><配慮すべき事項></p> <p>❶ 自治体のNPO活動促進施策と直結するようなコンテンツ（情報ページ）について検討する。</p> <p>❷ 類似サイトとの棲み分けや連携等の検討が必要。</p> <p>❸ コロナ禍における支援について検討が必要。</p> <p>❹ プラザの移転を見据えた機能の追加等。</p>	<p>⑥ NPO支援情報（制度、手引き、Q&A、等）</p> <p>⑦ 寄附に関する情報（寄附文化の醸成、先進事例紹介、募集情報、等）</p> <p>⑧ お役立ち情報（リンク集）</p>	
4	新着情報	<p>1 新着情報がわかりにくい。</p> <p>2 SNS活用など、若者向けの情報発信が必要である。</p>	<p>更新や追加等の情報を新着情報として知らせる表示や、メールやSNS等による登録者等への配信機能など、利用者を誘導する機能を強化する。</p> <p>① 更新や追加等の情報を新着情報として表示</p> <p>② 新着情報を登録者等へ通知する機能</p> <p>③ あらかじめ必要な情報を登録し、新着情報を自動で知らせる機能</p> <p><配慮すべき事項></p> <p>❶ メールリングリスト等の個人情報の管理</p>	<p>① 新着情報</p> <p>② 新着情報のプッシュ通知機能</p> <p>③ SNSとの連携</p>	<p>◇ サイトの閲覧者数が増え、NPO活動促進への関心が高まる。</p> <p>◇ NPOが必要とする情報を速やかに受け取ることができる。</p>
5	NPOプラザ利用	<p>1 みやぎNPOプラザの機能や活用の仕方の情報にたどり着きにくい。</p> <p>2 ウェブ上で会議室等の予約（空き）情報の確認ができない。</p> <p>3 行ったことがない人には、どのような施設か伝わりにくい。</p>	<p>NPOプラザの施設概要や各種支援内容（機能）等を分かりやすく紹介する。また、ウェブ上で会議室等の空き情報が確認できるなど、利用者の利便性を向上させる機能を強化する。</p> <p><配慮すべき事項></p> <p>❶ 利用したことがない人、施設を見たことがない人等への配慮</p>	<p>① NPOプラザのページ</p> <p>② 会議室の空き状況</p>	<p>◇ NPO等にとってプラザの利活用についてのイメージがしやすくなる。</p>

「みやぎNPO情報ネット」の再開発の方向性

<Ⅲ デザイン性>

No.	項目②	現状・課題	再開発の方向性	具体的な機能・コンテンツ等	期待される効果
1	トップページ等	<p>1 文字情報が多い。</p> <p>2 イベント情報、ボランティア募集情報など、文字のみで紹介している。</p> <p>3 文字情報で、開催地域や団体所在地域を判別するしかない。</p>	<p>イラスト等を効果的に取り入れて、利用者にとって視覚的にも分かりやすいデザインとする。</p> <p>① 初めての人も情報を見つけやすいシンプルなデザイン</p> <p>② 写真やイラスト等を用いて、初めての人がNPO活動をイメージしやすいページづくり</p> <p><配慮すべき事項></p> <p>❶ 写真等を必須にすると掲載に至らない団体も出てくる可能性がある。</p> <p>❷ 全ての情報に写真等を掲載すると、相当な手間もかかり、逆に見づらくなることも考えられる。</p> <p>❸ ウェブアクセシビリティへの配慮が必要である。</p>	<p>① トップページ (タグ、アイコン、マウスオーバー、等)</p>	<p>◇ 見やすく、わかりやすくすることで、利用者が目的のページに迷うことなくたどり着けるようになる。</p>